

京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
文化財保護課	吉田 誠

重点目標	6 歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます
基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。

1. 施策の方向性 PLAN

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	<p>①京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。</p> <p>②子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。</p> <p>③文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。</p>
2. 文化財の保護と活用	<p>①市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。</p> <p>②京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。</p> <p>③京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。</p> <p>④古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。</p>
3. 資料館施設の整備充実	<p>①市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。</p> <p>②児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。</p> <p>③郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。</p> <p>④資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。</p>

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備をすすめるための方向性を示すもの	平成18年10月	計画期間の定めなし	
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元の立場からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN
DO

※各事業の評価・課題については、別紙決算附属資料参照

CHECK
ACT

1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み	H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課			
<p>① 京丹後市の歴史・文化・自然等を活用した学習を充実するため、小中一貫教育の導入にあわせ、「丹後学」を積極的に展開します。特に、ジオパークに認定された地質遺産を活用したフィールド学習を、小学生を対象に実施します。</p> <p>② 子どもたちが地域の人々の仕事や生き方にふれることは、地域を再発見することにつながります。学校支援ボランティアや丹後の歴史に精通した京丹後史博士等を活用し、地域の人々が学校園の教育活動を積極的に支援する体制を拡充します。</p> <p>③ 文化財セミナーや京丹後史博士育成講座等、市民を対象とした歴史・文化の学習機会を充実します。また、京丹後史博士等の人材活用を図ります。</p>				
<p>1 文化財保護啓発事業</p> <p>市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。</p>	1,076	885	-	現状維持

2. 文化財の保護と活用		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 市内の貴重な歴史・文化等を保護し後世に伝えるため、文化財の管理や建造物等の修繕、郷土芸能の道具の更新等を通して文化財の保全を図ります。</p> <p>② 京丹後市史編さん事業での調査成果や刊行物を基に、郷土の文化財を活用し市内外の人々の理解を深める活動を進め、地域づくりに活かします。</p> <p>③ 京丹後市デジタルミュージアム、文化財ライブラリーなどインターネット環境を活用して、丹後の優れた文化財、調査成果について発信していきます。</p> <p>④ 古代丹後を代表する網野銚子山古墳、赤坂今井墳墓等の史跡を整備し、活用することで郷土への誇りと愛着を培い、併せて古代丹後の輝かしい資産を観光資源としても活用します。</p>					
2 市指定文化財等補助金	文化財保護課	2,500	2,500	2,000	現状維持
文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。					
3 史跡等維持管理事業	文化財保護課	3,319	1,409	1,237	現状維持
指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。					
4 遺跡整備事業	文化財保護課	17,854	11,371	53,615	現状維持
丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。					
5 遺跡発掘調査等事業	文化財保護課	2,170	3,501	3,792	拡大
発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護・活用につなげる。					
3. 資料館施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
<p>① 市内の資料館施設で郷土の歴史や文化財の展示会を開催し、市民や市外の人々に、巨大古墳に象徴される古代丹後の輝かしい歴史や、それ以降の丹後の歴史、文化財や鳴き砂、ジオパーク等について理解してもらうための普及啓発を図ります。</p> <p>② 児童生徒を対象とした社会科学習、郷土学習を進めます。</p> <p>③ 郷土の歴史や文化財の調査を進め、貴重な資料を保管し後世に伝えます。</p> <p>④ 資料館施設の整備充実を図り、市内外の人々が歴史や地域の文化財への関心を高める活動を推進します。</p>					
6 郷土資料館管理運営事業	文化財保護課	1,769	9,701	7,606	改善・効率化
民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
7 古代の里資料館管理運営事業	文化財保護課	10,567	8,736	9,475	現状維持
郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供する。					
8 指定管理施設運営事業	文化財保護課	8,345	8,346	8,346	現状維持
琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。					
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善
事務事業名称・事業内容(実績)		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓	担当課				
9 文化財保護審議会委員設置事業	文化財保護課	263	219	218	縮小
文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会で、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。					
10 文化財保護一般経費	文化財保護課	651	345	325	改善・効率化
文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。					
計		48,514	47,013	86,614	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	学校・地域の連携により、京丹後市の歴史・文化等を学ぶ「丹後学」を進めるなど、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを育みます。また、市内の豊富な歴史文化資源の保護・活用に取り組み、資料館施設の整備充実と併せて、歴史文化について深い理解と関心を持つ人材の育成・活用を進めます。							
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468 (5事業、17講座)	H25	1,177	H29	1,700	H36
	資料館、文化館入館者数	人	13,808 (3施設)	H25	14,920	H29	15,000	H36
	史跡整備	遺跡	6	H25	7	H29	8	H36

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK **ACT**

進捗状況区分	評価	29年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数》 文化財セミナー、京丹後史博士講座、鳴き砂サミット、丹後震災記念展、網野銚子山古墳現地説明会等を開催し延べ454人が参加した。29年度は文化財保護課として他機関、団体の歴史講座を担当講師を務める事業が増加し、京丹後市の文化財歴史事業の普及に努めた。参加者数延723人である。 今後の課題としてシンポジウムや文化財の現地見学等の魅力ある事業を実施する必要がある。</p> <p>《資料館、文化館入館者数》 網野郷土資料館の旧郷小学校への移転作業のために7月末で休館したために網野郷土資料館の入館者は減少した。尚小学校3年生の社会科学習については旧郷小学校で実施した。琴引浜鳴き砂文化館の各種事業、広報活動により28年度より入館者は増加した。 (網野郷土資料館285名、丹後古代の里資料館2,930名、琴引浜鳴き砂文化館11,705名) 郷土資料館、丹後古代の里資料館の特別展示、企画展示の開催と入館者数の増加が課題である。</p> <p>《史跡整備》 文化財マスタープランにより市内主要遺跡等の現状、整備等について検討し整備方針を定めた。整備済の史跡を下記の6史跡とし、今後、早期に整備すべき史跡として、網野銚子山古墳、赤坂今居墳墓、函石浜遺跡、湧田山古墳を定めた。 整備済の史跡 ①郷村断層、②湯舟坂2号墳、③高山12号墳、④復元岡1号墳、⑤離湖古墳、⑥浜詰遺跡、⑦網野銚子山古墳 現在、網野銚子山古墳の整備実施中、32年度完成予定。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(平成30～32年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	文化財セミナー等の講演会、資料館施設での様々な歴史、文化財展示を開催し学習する機会の充実を図る。
	2	史跡整備事業の中で網野銚子山古墳の整備は、工事の実施設計、墳丘工事、圍路工事、進入道路、駐車場等の整備を実施して地元市民、観光客に日本海側最大の丹後の王の古墳を見学してもらい活用する。
	3	網野郷土資料館の老朽化に伴い旧郷小学校へ民俗資料の移転統合した。今後、各施設において保管している民俗資料、考古資料を整理して集中管理する。

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業	決算書	P.152
細事業名	01文化財保護啓発事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額	
	885千円	979千円	94千円	90.3%	1,156千円	
目的	市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。					
主要な事務・事業の概要	<p>市民及び来訪者のために「京丹後市史」や文化財の調査成果を周知する講座（文化財セミナー・京丹後史博士育成講座）、丹後古代の里資料館を用いた企画展示等を開催した。また、丹後・東海地方の文化交流調査事業は、調査事業の成果をまとめた報告書を作成した。</p> <p>○文化財セミナー 講師（2人）謝金・費用弁償 参加者 第1回（6月17日）60人、第2回（11月24日）35人 119千円</p> <p>○丹後古代の里資料館企画展示 ポスター・図録作成、事務経費等 244千円 「300年を紡ぐ網が織り成す丹後ちりめん回廊」日本遺産認定企画展示 「丹後ちりめんと葦山藩」（5月13日～7月9日）781人 京都市暫定登録文化財登録記念特別公開 「平八幡神社の絵巻」（8月24日～9月20日）236人 平成29年度特別展示 「大宮荒神社～古代祭祀とその後の展開～」(9月23日～2月18日) 924人 「震災から立ち上がったまち」（2月24日～4月15日）654人</p> <p>○丹後・東海地方の文化交流調査事業 522千円 調査事業原稿作成謝金（調査者4人） 100千円 『丹後・東海地方のことばと文化』第2集 印刷製本費（1,000部） 422千円</p>					
主な財源	諸収入 京丹後史博士育成講座資料代				11千円	
成果・課題	○文化財セミナーでは、『京丹後市史』の内容を市民により深く理解いただく機会を提供できた。また、市ケーブルテレビの特集番組の放映により市民に広く情報提供することができた。 ○丹後・東海地方の文化交流調査事業は、これまでの調査成果をまとめた報告書を作成し、事業を完了できた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	決算書	P.152
細事業名	01市指定文化財等補助金					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考)当初予算額	
	2,500千円	2,500千円	0千円	100.0%	2,500千円	
目的	文化財の修理などの保全事業に対して補助金を交付することにより、貴重な文化財を守り次世代に引き継ぐ。					
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 26件 2,500千円 (内訳) 4件 298千円</p> <p>・国、府指定・登録文化財補助金該当</p> <p>・京都府社寺等文化資料保全補助金該当 22件 2,202千円 (京丹後市指定文化財及び未指定文化財のうち補助要件を満たすもの)</p> <p>事業対象は神社・寺院建物の修理、覆屋の修理、危険木の伐採、郷土芸能の道具の修理・新調、絵画の修理などで、事業費の総額は、35,328千円であった。</p> <p>※参考 平成28年度事業実績 補助件数 20件 補助金額 2,500千円 事業総額 53,554千円</p>					
主な財源						
成果・課題	市内に数多く残る文化財の保全のために、修理等への補助金を交付することにより、文化財所有等々の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業	05遺跡整備事業
細事業名	02 史跡等維持管理事業				05 遺跡整備事業
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			決算書 P.152
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
1,409千円	1,421千円	12千円	99.1%	1,108千円	
目的	指定文化財やそれに関連する施設の草刈りや補修等の維持管理を行うことにより、文化財の適切な管理と活用を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>○コウノトリモニタリング事業報償費 116千円 天然記念物のコウノトリが市内で営巣・産卵したため、監視員を置き観察・記録するとともに巣周辺の立ち入り制限などの保護活動を行った。 (延べ16.5日、16.5人)</p> <p>○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 903千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財見学の利用供与や、維持管理を行った。 神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳、湯舟坂2号墳、竹野神社など15件</p> <p>○指定文化財関連施設管理経費 50千円 郷村断層、丹後震災記念館等の指定文化財施設の維持経費 25千円 火災保険料(旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設) 25千円</p> <p>○京丹後市指定文化財看板等設置事業(土地借上、修繕費) 124千円 国・府指定文化財の看板2基(函石浜遺跡、湯舟坂2号墳)の修繕を行った。 また従前から設置している看板(比呂麻奈為神社案内、月の輪田・清水戸案内、鳴き砂案内)の土地借上料を支出した。</p> <p>○京丹後市指定文化財施設修繕事業(修繕費) 216千円 市指定文化財である峰山陣屋跡エノキの災害による倒木が原因で傷んだ峰山1区会館前のフェンスの修繕を行った。</p>				
主な財源	国補 国宝重要文化財等保存整備費補助金(1/2) 5,140千円				
成果・課題	<p>○史跡や周辺施設等の環境整備を行うことにより、文化財の保全が図られ、文化財見学の利用促進につながった。</p> <p>○指定文化財の案内看板等に未整備のものがあるため、整備を行い、来訪者の利便性向上と文化財の保護啓発を図る必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05遺跡整備事業	05遺跡整備事業
細事業名	01 遺跡整備事業				決算書 P.152
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			(参考) 当初予算額
決算額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
11,371千円	11,567千円	196千円	98.3%	11,567千円	
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。				
主要な事務・事業の概要	<p>国史跡網野銚子山古墳について、平成23年に策定した「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図るべく、史跡整備検討委員会を3回開催した。検討委員会からの指導を受け、実施設計に必要な基礎資料を得るための発掘調査を実施し、「網野銚子山古墳環境整備基本設計」を策定した。</p> <p>網野銚子山古墳の環境整備として、墳丘に目する樹木の一部の整理伐採工事及び周溝部分の廃小屋解体撤去工事を実施した。</p> <p>○網野銚子山古墳整備事業費 11,371千円 ・報酬 112千円 史跡整備検討委員会委員報酬 (半日×3回、4,000円×28人)</p> <p>・共済費 4千円 発掘調査補助員に関する労災保険料</p> <p>・賃金 1,263千円 発掘調査補助員賃金</p> <p>・旅費 171千円 整備に関する専門委員及び関係者協議旅費</p> <p>・需用費 197千円 調査関連の消耗品、発電機ガソリン代ほか</p> <p>・役員費 65千円 発掘調査測量機材修繕料</p> <p>・委託料 2千円 簡易トイレ1尿汲取料</p> <p>719千円 草刈委託料</p> <p>1,822千円 発掘調査作業員・整理員人材派遣委託料</p> <p>1,059千円 発掘調査写真撮影・遺構図化等委託料</p> <p>3,254千円 環境整備基本設計、伐採工事監理委託料</p> <p>9千円 関係者協議に関する有料道路通行料</p> <p>458千円 発掘調査に係る重機、簡易トイレ等借上料</p> <p>1,296千円 墳丘樹木伐採工事、作業道養生工事</p> <p>940千円 周溝部分小屋解体撤去工事</p>				
主な財源	国補 国宝重要文化財等保存整備費補助金(1/2) 5,140千円				
成果・課題	<p>○前方部の墳丘段築テラスの調査により、後世の削平の進む前方部のデータを取得、墳丘長などの正確な復元が可能となった。</p> <p>○史跡整備検討委員会の指導を受け、史跡整備に必要な基本設計ができた。</p> <p>○本格的な整備工事は次年度以降に実施する予定であるが、樹木伐採工事の一部を先行して実施することにより、生態系の維持を図りつつ視覚的に古墳を認識することができるようになった。</p>				
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡発掘調査等事業	決算書	P.152						
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業											
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進										
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額								
	3,501千円	7,766千円	4,265千円	45.0%	3,273千円							
目的	発掘調査等により、市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るとともに、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り、文化財の保護・活用につなげる。											
主要な事務・事業の概要	<p>網野銚子山古墳整備に先立って発掘調査を実施するとともに、墳丘部分の地中探査を大学に依頼し実施した。併せて実施した地中探査では、後円部の埋葬施設の位置を推測することでき、初めて埋葬施設の保護を図るための検討材料を得た。</p> <p>○網野銚子山古墳発掘調査 ・現地調査期間 平成29年6月4日～8月10日 2,278千円 ・調査成果 古墳の前円部の墳丘裾の位置を推測できる遺構を検出。 調査補助員賃金、共済費 1,115千円 作業員派遣委託料 679千円 需用費等 フルーシート、写真現像経費等 240千円 使用料及び賃借料 重機借上、トイレ借上等 244千円</p> <p>○網野銚子山古墳地中探査調査(天理大学考古学研究室に委託) ・現地調査期間 平成29年9月11日～9月14日 723千円 ・調査成果 後円部墳頂部において、埋葬施設の位置を推測するデータを得た。 報償費 原稿作成謝金(5人) 120千円 費用弁償 調査参加者(15人) 603千円</p> <p>○女布遺跡発掘調査(試掘調査) ・現地調査期間 平成29年10月16日～10月26日 500千円 ・調査成果 16カ所のグリッド調査を行い、湿地状堆積と護岸状遺構を検出。 委託料 作業員派遣委託料 117千円 発掘調査補助員賃金 13千円 需用費 報告書印刷経費等 87千円 使用料及び賃借料 重機借上、トイレ借上等 283千円</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>3,572千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>98.0%</td> </tr> </table> <p>■平成30年度への繰越事業 途中ケ丘遺跡発掘調査事業 平成30年6月完成 国庫重要文化財等保存整備費補助金(1/2) 1,500千円 埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金(1/4) 750千円</p>						参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,572千円		実質的な予算執行率	98.0%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	3,572千円										
	実質的な予算執行率	98.0%										
主な財源	<p>国庫 1,500千円 府補 750千円</p>											
成果・課題	○網野銚子山古墳の発掘調査では、墳丘の調査により墳墓の激しい前方部の遺構を検出したことにより、後円部の埋葬施設の位置を推測することでき、初めて埋葬施設の保護を図るための検討材料を得た。 ○女布遺跡発掘調査では、平成30年度以降のほ場整備事業との調整を行う基礎資料を得ることができた。											
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課											

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01 郷土資料館管理運営事業	決算書	P.150
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業					
総合計画	計画項目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	① 最終予算額	② 不用額	③-④ 執行率	(参考) 当初予算額		
	9,701千円	9,889千円	188千円	98.0%	7,286千円	
目的	民俗資料の調査保存、公開施設である資料館の維持管理を行い、郷土の歴史や文化遺産に対する住民の関心を高める。					
主要な事務・事業の概要	<p>豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開するとともに、網野郷土資料館の老朽化に伴い、旧郷小学校校舎へ民俗資料を移転した。移転に際し、資料の整理運搬作業及び資料館利用に向けた旧郷小学校の整備工事を行った。 平成29年度入館者数(7月末で休館) 285人(平成28年度入館者数 713人)</p> <p>○人件費(臨時職員2人分の賃金と労災保険料) 1,031千円 ○郷小学校活用検討委員会謝金、費用弁償 33千円 ○維持管理経費 536千円 ・燃料費 12千円 ・光熱水費 105千円 ・修繕料 178千円 ・電話料 66千円 ・保険料 38千円 ・機械整備委託料(平成29年12月末まで) 112千円 ・コピー機借上料 10千円 ・テレビ受信料 15千円</p> <p>○網野郷土資料館の移転関係経費 8,101千円 ・消耗品費(維持管理経費含む) 561千円 ・建築確認手数料(旧郷小学校改修関係)等 154千円 ・工事設計委託料(旧郷小学校改修関係) 486千円 ・工事請負費(旧郷小学校改修関係) 4,027千円 ・資料等移設運搬費用 2,031千円 ・移転に伴う備品購入費用 842千円</p>					
主な財源	<p>使用料 郷土資料館入館料 11千円 府補 未来づくり交付金(資料館再配置経費) 388千円</p>					
成果・課題	○旧郷小学校を資料館として利用するため必要な諸手続き及び改修工事を行い、網野郷土資料館から旧郷小学校校舎へ資料等の移転を行った。 ○市内小学生の社会科見学の受け入れを行い、実物に触れさせるなどさまざまな工夫を行うことで学習効果の向上につなげた。 ○移転後の資料館について市内外に向けて周知広報を行うとともに、展示内容の充実にも、入館者の増加を図る必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業	決算書 P.150
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業				
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額
	8,736千円	9,059千円	323千円	96.4%	9,321千円
目的	郷土の文化遺産に関しての住民の関心を高め、教育、文化にふれあい、歴史を学ぶ機会を提供する。				
主要な事務・事業の概要	<p>市所蔵考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の保護、普及啓発を図るため夏休みの市内小学生入館無料、「丹後らりめんと峯山藩」、「大宮赤神社〜古代祭祀とその後の展開〜」と題した特別展示等を開催するとともに、丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成29年度入館者数 3,491人 (平成28年度入館者数 3,735人)</p> <p>○人件費 5,672千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料館長報酬、共済費、費用弁償 2,636千円 資料館長報酬 166,500円×12か月=1,998千円 臨時職員賃金、共済費 3,036千円 <p>臨時職員3人分の賃金と労災保険料、雇用保険料、社会保険料事業主負担</p> <p>○維持管理経費 2,996千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 光熱水費 1,217千円 消耗品等(燃料費、印刷製本費) 434千円 通信運搬費等役務費 157千円 機械警備委託料 99千円 施設管理委託料(浄化槽維持管理、電気設備保守管理) 454千円 土地借上料(2,915㎡) 304千円 修繕料(事務室空調設備等) 196千円 保険料(火災保険) 27千円 その他管理経費(清掃用具借上・コピー機リース等) 108千円 <p>○体験用経費 68千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 原材料費(勾玉作り材料及び陶芸体験用材料) 33千円 報償費(窯焼謝礼) 35千円 				
主な財源	<ul style="list-style-type: none"> 使用料 512千円 諸収入 18千円 諸収入 105千円 諸収入 251千円 				
成果・課題	<p>○考古・歴史資料を紹介する特別展等を開催し、文化財の普及啓発を図った。</p> <p>○小中学校の地域学習施設として活用することで、市内小学生に対して市内の歴史に関する知識を深め、関心を高めることができた。今後より一層、小中学校の地域学習への活用を図っていく必要がある。</p> <p>○開館から20年以上経過しているため、屋内外の設備更新及び屋外施設(竪穴式住居等)の修繕等が今後の検討課題である。</p>				
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業	決算書 P.150
細事業名	01 指定管理施設運営事業				
総合計画	計画項目 28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進				
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③ 執行率	(参考) 当初予算額
	8,346千円	8,346千円	0千円	100%	8,346千円
目的	琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行い、琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>鳴き砂や環境保全の学習施設として、指定管理制度により、掛津区が管理運営を行っている。教育施設の性格を持つとともに、山陰海岸ジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設としても重要な拠点となっている。</p> <p>平成29年度入館者数 11,705人 (平成28年度入館者数 9,779人)</p> <p>○委託料 7,100千円</p> <p>指定管理者の管理運営に伴う管理委託料</p> <p>○使用料及び賃借料 1,246千円</p> <p>建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料及び駐車場用地賃借料</p>				
主な財源					
成果・課題	<p>○各種の展示事業や、琴引浜のガイドワークにも取り組み、観光業者との連携など積極的な管理運営に努めた。各種視察受け入れやジオパーク関連事業、カイト事業への支援、協力などを行い、京丹後市を代表する自然系の展示施設としての役割を果たした。</p> <p>○リピーターを含む市内外の利用者獲得に向け、展示内容のリニューアル等の検討を進めるほか、施設修繕など市の施設として適正な運営に努める必要がある。</p>				
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会設置事業	決算書	P.152
細事業名	01文化財保護審議会設置事業					
総合計画	計画項目		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	219千円	346千円	127千円	63.2%	346千円	
目的	文化財の指定解除等の諮問機関である文化財保護審議会、文化財の保全及び活用について調査・審議を行うことで、市の文化財の保全や活用に資する。					
主要な事務・事業の概要	<p>○文化財保護審議会の開催経費 市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会を開催した。また、文化財2件の指定について審議を行い、答申を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 半日×4回 (4千円×23人) ・費用弁償 92千円 15千円 <p>○両丹文化財保護連絡協議会の開催経費 平成29年度は京丹後市が当番であり、平成29年11月24日に京丹後市丹後庁舎で開催した。6つの市町の文化財保護審議会委員や関係者を含め35人が参加し、資料館施設の管理・活用と今後の資料館管理をテーマに研修・交流を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 (7千円×7人) 49千円 ・費用弁償 4千円 ・講師 (1人) 謝金、昼食代等 40千円 <p>○文化財保護審議会委員視察研修費 京丹後市の文化財行政に活かすため、綾部市のグンゼ記念館、資料館の視察、国宝光明寺仁王門修理プロジェクトの聞き取りと現場見学を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年11月1日 (綾部市) 19千円 ・費用弁償 (7人) 16千円 ・その他経費 (有料道路通行料、職員旅費) 3千円 					
主な財源						
成果・課題	○両丹文化財保護連絡協議会を開催し、各市町間において意見交流を行うことにより研修を模むことができた。 ○委員視察研修では、国宝建造物の修理現場の見学と、修理資金集め等の取組について視察を行い、今後の文化財行政への活用を検討することができた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費	決算書	P.152
細事業名	01文化財保護一般経費					
総合計画	計画項目		28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決算	額	① 最終予算額	② 不用額	③-① 執行率	(参考) 当初予算額	
	345千円	535千円	190千円	64.4%	535千円	
目的	文化財保管施設の維持管理及び各種文化財保護関係団体の活動を推進し、文化財の保護と活用を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>○文化財関係加盟団体経費 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国史跡整備市町村協議会 40千円 ・全史協近畿地区協議会 10千円 ・全国鳴き砂ネットワーク 20千円 <p>○文化財収蔵施設維持管理費 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 (成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 (水道閉栓手数料含) 59千円 ・電話料・火災保険料 81千円 ・機械整備委託料・草刈委託料 37千円 <p>○一般事務経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 98千円 ・旅費 (史跡整備市町村協議会会議出席等) 23千円 75千円 					
主な財源						
成果・課題	文化財保護事務及び所管施設の維持管理を適切に実施し、文化財の保護と活用を図ることができた。					
所管課	教育委員会事務局/文化財保護課					

京丹後市教育振興計画 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課 生涯学習課	松本 晃治 引野 雅文

重点目標	7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します
基本的方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。

1. 施策の方向性 PLAN

1. 健康な体づくり	<p>①子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。</p> <p>②喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。</p> <p>③食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。</p> <p>④児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。</p> <p>⑤学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。</p>
2. 地域スポーツ活動の推進	<p>①スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。</p> <p>②市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。</p> <p>③市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。</p>
3. 競技力の向上	<p>①学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。</p> <p>②体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。</p> <p>③市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。</p> <p>④青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。</p>
4. 社会体育施設の整備充実	<p>①社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。</p> <p>②社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。</p>

【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市スポーツ推進計画	年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適正やライフステージに応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「京丹後市スポーツ推進計画」を策定するもの	平成26年3月	平成26年度～平成29年度	第2次京丹後市スポーツ推進計画(平成30年度～平成39年度)
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力を全ての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧

PLAN
DO
※各事業の評価・課題については、別紙決算附属資料参照
CHECK
AGT

1. 健康な体づくり	決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み	H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績) 担当課				
<p>① 子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。</p> <p>② 喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。</p> <p>③ 食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。</p> <p>④ 児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。</p> <p>⑤ 学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。</p>				
<p>1 小中一貫教育推進事業(再掲) 学校教育課</p> <p>「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。</p>	-	-	-	現状維持

2. 地域スポーツ活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
① スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。						
② 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。						
③ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。						
2	スポーツ推進委員活動事業 市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツの振興を図る。	生涯学習課	3,503	3,160	3,839	現状維持
3	保健体育総務一般経費 社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づくスポーツ推進審議会を運営し、市民の声を反映したスポーツ活動の推進を図る。	生涯学習課	2,148	287	256	現状維持
4	地域スポーツ推進事業 気軽に親しめるスポーツ大会等を実施するなど、スポーツを通じた市民交流の機会を提供することで、全ての市民の健康の増進や活力ある生活を目指す。	生涯学習課	8,764	9,330	6,614	現状維持
3. 競技力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
① 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。						
② 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。						
③ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。						
④ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。						
5	社会体育団体育成事業 スポーツ団体及び青少年スポーツ教室を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに青少年の健全育成と体力の向上を図る。	生涯学習課	20,169	20,075	20,429	現状維持
4. 社会体育施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績) 担当課					
① 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。						
② 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。						
6	体育施設管理運営事業 市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理運営することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。	生涯学習課	49,147	56,003	49,339	改善・効率化
7	社会体育用学校開放施設管理運営事業 地域住民の身近なスポーツ施設である学校体育施設を開放することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。	生涯学習課	1,408	1,717	2,044	現状維持
8	竹野体育館改修事業【再編交付金活用事業】 社会体育施設として活用している竹野体育館について、耐震診断の結果、耐震等の改修を行う必要があると判断されたことにより、改修工事を行う。	生涯学習課	11,740	36,118	-	終了・廃止
9	保健体育施設災害復旧事業(繰越) 大雨により佐濃体育館(旧佐濃小学校)施設内の法面が崩落し、隣接する安養寺川に影響を及ぼしているため、法面復旧工事を行う。	生涯学習課	-	2,629	-	終了・廃止
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績) 担当課		H28決算額	H29決算額	H30予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
10	スポーツイベント推進事業 観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツのを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。			12,832	現状維持	
11	オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業 2020年東京オリンピック・パラリンピックホストタウン事業を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、スポーツによる地域の活性化を図る。			37,937	拡大	
12	ワールドマスターズゲームズ関西推進事業 ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG関西)関連事業を推進し、本市のスポーツツーリズムやインバウンドの増加、スポーツによる地域の活性化を図る。			1,534	拡大	
計		96,879	126,159	134,824		

3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。						
	目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値
主な目標指標				年度		年度	年度
	朝食を毎日食べる児童の割合<小学校>	%	97.8	H25	96.9	H29	100 H36
	朝食を毎日食べる生徒の割合<中学校>	%	91.1	H25	94.7	H29	95%以上 H36
	平日、午前7時より前に起きる児童の割合<小学校>	%	88.4	H25	89.6	H29	100 H36
	平日、午前7時より前に起きる生徒の割合<中学校>	%	77.2	H25	93.0	H29	85%以上 H36
	平日、午後11時より前に寝る児童の割合<小学校>	%	91.6	H25	97.1	H29	100 H36
	平日、午後11時より前に寝る生徒の割合<中学校>	%	45.0	H25	57.5	H29	50%以上 H36
	小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中7種目	H25	8種目中5種目	H29	全種目 H36
	中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中4種目	H25	8種目中6種目	H29	全種目 H36
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6	H24	—	H29	65.0 (国の目標) H36
京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6	H25	6	H29	10 H36	
公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253	H24	11,665	H29	13,000 H36	

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

進捗状況区分	評価	29年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	<p>《朝食を毎日食べる児童生徒の割合》 朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小中学生ともに増加傾向にあり高い水準で推移し、各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきている。今後も保護者との連携を密にし、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組を進めていく必要がある。</p> <p>《平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合》 平日午前7時より前に起きる児童生徒の割合は、小学生が2.4%減少したものの中学生は2%増加し、小中学生ともに高い水準で推移している。また、中学生は調査時期によって実績値が大きく変動する現状がある。今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。</p> <p>《平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合》 平日午後11時より前に寝る児童生徒の割合は、小中学生ともに減少したものの小学生では高い水準で推移している。また、中学生は調査時期によって実績値が大きく変動する現状がある。今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。</p>	
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

	<p>《小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上》 小学校においては、握力及び上体起こし、長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回っており、前年度と同様の傾向が見られる。今後は各校への課題の周知により、体育の時間だけでなく、教育活動等を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力についての克服を図っていく必要がある。</p> <p>《中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上》 中学校においては、握力及び長座体前屈などの柔軟性が全国平均を下回ったが、前年度と比べて全国平均を上回る種目が増加した。今後は各校への課題の周知により、体育の時間だけでなく、教育活動等を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力についての克服を図っていく必要がある。</p> <p>《成人の週1回以上のスポーツ実施率》 アンケート結果から、この1年間で行った運動やスポーツ及び今後行いたい運動やスポーツは、いずれも「ウォーキング」が最も多く、重点推進種目としてウォーキング及び運動効率の高いノルディック・ウォーキングに取り組み、延べ1,611人の参加を得た。 ウォーキングを更に効果的に推進し、継続できる支援として、各種イベント等との連携などに努める必要がある。</p> <p>《京都府民総合体育大会入賞競技数》 平成29年度は、総合成績11位、入賞6種目という結果に終わった。体育協会の登録者の高齢化が進み、また登録者数が年々減少するなど、競技スポーツ離れが見られる。 今後は、若年層競技者の発掘・拡大はもとより、競技力向上のためには、指導者の育成、競技場等の整備に取り組む必要がある。</p> <p>《公共スポーツ施設の利用回教》 学校再配置に伴う社会体育施設の増加とともに、施設の老朽化が進んでいるが、利用者の安全性を考慮し、必要な修繕等に努めた。 今後は、社会体育施設の維持管理経費が増大する中、大規模改修が必要な施設・利用頻度が少ない施設等の廃止について検討する必要がある。</p>
--	---

5. 今後の施策展開の考え方(平成30～32年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの基本的な生活習慣を確立させるため、学校園が連携し、発達段階に応じた指導を継続するとともに、丹後学を通じた学習や、地産地消・給食指導など、家庭、地域と連携した食育の取組を更に推進する。
	2	市民のニーズに合ったスポーツの推進や、各地区の事業やPTA活動への協力を行うなど、多くの方がスポーツに親しめる機会を設ける。また、競技性の高いスポーツについては体育協会と連携し活動する機会を支援する。
	3	京丹后市体育協会へ財政支援を行うことにより、各種スポーツ大会の実施や府民総合体育大会への出場選手の拡大を図り、競技力の向上を目指す。
	4	市内には多くの社会体育施設が点在しているが、地域の大切なコミュニティーの場としての役割も大きい。計画的な施設の修繕を実施する一方、利用が少ない施設は、施設の維持について見直しを行う。 交流人口の増加等、地域活性化を図るため、事業効果の高いスポーツイベントを推進するとともに、東京2020大会、WMG関西に向け、ホストタウンとしての取組、必要な施設整備を推進する。

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	017スポーツ推進委員活動事業	決算書	P.152
細事業名	01 スポーツ推進委員活動事業					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	③-①
3,160千円	3,279千円	119千円	96.3%	3,858千円	(参考)当初予算額	
目的	市民にスポーツに関する指導及び助言を行うスポーツ推進委員を委嘱し、本市のスポーツの振興を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>スポーツ推進委員50人を委嘱し、地域のスポーツ振興のためニュースポーツ教室等を開催した。また、実技指導、その他スポーツに関する指導助言を行うため、各種研究大会へ参加し、質向上に努めた。</p> <p>＜活動内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノルディック・ウォーキング体験会の開催（年間51回、806人参加） ・ニュースポーツ教室の開催（ビーチボールハレー、ファミリーバドミントン他） ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導（ノルディック・ウォーキング、ニュースポーツ、体力テスト他） ・スポーツ大会への協力（'後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝他） <p>○スポーツ推進委員報酬（市職員2人を除く48人分） 2,379千円</p> <p>○旅費 533千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員活動費用弁償 503千円 ・職員旅費 30千円 <p>○需用費（消耗品費、燃料費） 23千円</p> <p>○役務費（スポーツ安全保険料） 88千円</p> <p>○委託料（バス運転委託料） 43千円</p> <p>○使用料及び賃借料 13千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料道路通行料 8千円 ・駐車場使用料 5千円 <p>○負担金、補助及び交付金 81千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金 44千円 ・京都府スポーツ推進委員研究大会参加負担金 17千円 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金 20千円 					
主な財源						
成果・課題	○「ノルディック・ウォーキング」を重点推進種目として普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○さらに普及していくために、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域や学校行事にスポーツ指導をする場を設けてもらえるよう地区公民館等へ働きかけていくことが必要である。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課（スポーツ推進室）					

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	50保健体育総務一般経費	決算書	P.152
細事業名	01 保健体育総務一般経費					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実					
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	③-①
287千円	573千円	286千円	500%	573千円	(参考)当初予算額	
目的	社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づくスポーツ推進審議会を運営し、市民の声を反映したスポーツ活動の推進を図る。					
主要な事務・事業の概要	<p>京丹後市スポーツ推進審議会を開催し、「第2次京丹後市スポーツ推進計画」策定に係る答申を行うとともに、スポーツ推進に関する各種施策について、進捗状況を確認、管理した。</p> <p>○スポーツ推進審議会委員報酬（委員12人、4回開催） 144千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回（8月29日） ①京丹後市スポーツ推進計画の策定について ②峰山途中ヶ丘公園陸上競技場整備計画について ・第2回（11月24日） ①京丹後市スポーツ推進計画の策定について ・第3回（1月29日） ①京丹後市スポーツ推進計画の策定について ・第4回（3月13日） ①京丹後市スポーツ推進計画の策定について <p>※答申（3月19日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費（費用弁償、普通旅費） 34千円 ○需用費（消耗品費） 98千円 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 11千円 					
主な財源						
成果・課題	○京丹後市スポーツ推進審議会から市民や関係団体の声を反映した答申を受け、「第2次京丹後市スポーツ推進計画」を策定した。 ○「第2次京丹後市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ環境の整備等に向けた取組を一層進める必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課（スポーツ推進室）					

予算科目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	01地域入*~推進事業	決算書	P.152
細事業名	01 地域入*~推進事業					
総合計画	計画項目		27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	③-①
	9,330千円		9,376千円	46千円	99.5%	
目的	気軽に親しめるスポーツ大会等を実施するなど、スポーツを通して市民交流の機会を提供することで、全ての市民の健康増進や活力ある生活を目指す。					
主要な事務	<p>市民相互の交流や競技力の向上を図るため、各種スポーツ事業を実施した。</p> <p>○報償費</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ大会等審判員謝金 50千円 はしうど杯卓球選手権大会（12月10日）100人参加 18千円 各種スポーツ大会入賞記念品 32千円 北近畿中学生ソフトテニス大会（6月4日）176人参加 弥栄町文化祭駅伝大会、はしうど杯卓球選手権大会 <p>○旅費（職員旅費） 5千円</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費、食糧費） 317千円</p> <p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> 弥栄町文化祭駅伝大会/バス運転委託料（11月3日）215人参加 2,683千円 府民総合体育大会/バス運転委託料（2月11日） 17千円 市長杯中学生野球大会開催委託料（6月4・11日）市内6校参加 101千円 久美浜湾一周駅伝競争大会運営委託料（11月23日）540人参加 1,442千円 カヌー・スプリント春季・秋季大会、カヌー交流大会運営委託料（5月13日、6月3日、10月28日）166人参加 1,106千円 <p>○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 4千円</p> <p>○負担金、補助及び交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西学生対校駅伝競走大会後援会負担金（11月18日）22校出場 6,271千円 府民総合体育大会（9月~2月）16競技参加 900千円 市民総合体育大会（9月3日）23種目 2,000人参加 1,021千円 あみの八丁浜ロードレース大会（10月15日）670人参加 3,300千円 1,050千円 					
主な財源						
成果	市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることによって、市民の健康・体力づくりやスポーツを通して住民間・地域間の交流機会の拡充、地域力の活性化に寄与した。					
課題	今後、健常者と障害者の交流を含めた、障害者が参加できるスポーツ事業の推進に努める必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課（スポーツ推進室）					

予算科目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	03社会体育団体育成事業	決算書	P.152
細事業名	01 社会体育団体育成事業					
総合計画	計画項目		27 多様な学びを支援する社会教育の充実			
決算	額	①	最終予算額	②	不用額	③-①
	20,075千円		20,075千円	0千円	100.0%	
目的	スポーツ団体及び青少年スポーツ教室を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに、青少年の健全育成と体力の向上を図る。					
主要な事務	<p>本市の体育振興の中心となる組織である京丹後市体育協会に対し支援を行うとともに、京丹後市スポーツ少年団及びスポーツクラブに対して、青少年スポーツ教室育成の観点から支援を行った。</p> <p>○京丹後市体育協会補助金 15,727千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育事業の開催、支援 スポーツ指導者研修会の開催（6/29、12/6） 府民総合体育大会 各競技への支援（年間） 丹後大学駅伝への支援（11/18）など <p>・年3回の広報誌発行</p> <p>・各町支部での各種スポーツ大会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 峰山町（みねやま駅伝大会 11/4 ほか） 大宮町（大宮町一周駅伝競走大会 11/19 ほか） 網野町（網野町ソフトバレーボール大会 3/4 ほか） 丹後町（町内益野球大会 8/13~8/14 ほか） 弥栄町（弥栄招待サッカー大会 7/2 ほか） 久美浜町（町内バスケットボール大会 2/11 ほか） <p>○京丹後市スポーツ少年団活動補助金 3,948千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 加入団体：70団体、指導者数：291人、生徒数：1,183人 <p>○子どもスポーツ障害対策予防事業補助金 300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助団体：京丹後市スポーツ少年団 事業内容：スポーツ障害予防事業（肘肩検診事業 504人受診） <p>○総合型地域スポーツクラブ活動補助金 100千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助団体：三遊スポーツクラブ <p>・事業内容：各種スポーツ教室及び大会の実施、異世代間の交流イベントの実施</p>					
主な財源	<p>繰入金 3,000千円</p> <p>ふるさと応援基金繰入金</p>					
成果	○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。					
課題	○青少年のスポーツ活動への参加促進を引き続き支援するとともに、指導者の育成・確保を図る必要がある。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課（スポーツ推進室）					

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	01体育施設管理運営事業	決算書	P.154																						
細事業名	01 体育施設管理運営事業																											
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																											
決算額	①	最終予算額	②	不用額	③-①	執行率																						
56,003千円		67,042千円		11,039千円		83.5%																						
当初予算額						(参考) 当初予算額																						
						57,405千円																						
目的	市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理運営することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。																											
主要な事務・事業の概要	<p>スポーツ振興を図るために社会体育施設の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料） 29,336千円 ○役員費（通信運搬費、し尿汲取手数料、火災保険料等） 968千円 ○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等） 15,878千円 ○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料等） 594千円 ○工事請負費（大宮自然運動公園キュービクル改修工事 他5件） 7,496千円 ○原材料費（クラウンド用土） 173千円 ○備品購入費（テニスネット 等） 298千円 ○補償補填及び賠償金（損害賠償金支払い） 1,260千円 																											
＜利用実績＞	<table border="1"> <tr> <td>紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>大宮自然運動公園（グランド・テニスコート）</td> <td>440件</td> </tr> <tr> <td>大宮社会体育館</td> <td>943件</td> </tr> <tr> <td>網野グラウンド（グランド・屋内グランド・球場）</td> <td>500件</td> </tr> <tr> <td>網野体育センター（体育室・武道館・テニスコート）</td> <td>1,547件</td> </tr> <tr> <td>丹後社会体育館</td> <td>470件</td> </tr> <tr> <td>豊栄山村広場（グランド・屋外グランド・球場）</td> <td>247件</td> </tr> <tr> <td>弥栄総合運動公園（体育館・グランド・屋根付きグランド・球場など）</td> <td>1,769件</td> </tr> <tr> <td>久美浜中央運動公園（グランド・テニスコート・屋根付きグランド・球場など）</td> <td>1,009件</td> </tr> <tr> <td>その他、体育施設（29施設）</td> <td>2,507件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,464件</td> </tr> </table>						紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）	32件	大宮自然運動公園（グランド・テニスコート）	440件	大宮社会体育館	943件	網野グラウンド（グランド・屋内グランド・球場）	500件	網野体育センター（体育室・武道館・テニスコート）	1,547件	丹後社会体育館	470件	豊栄山村広場（グランド・屋外グランド・球場）	247件	弥栄総合運動公園（体育館・グランド・屋根付きグランド・球場など）	1,769件	久美浜中央運動公園（グランド・テニスコート・屋根付きグランド・球場など）	1,009件	その他、体育施設（29施設）	2,507件	合計	9,464件
紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）	32件																											
大宮自然運動公園（グランド・テニスコート）	440件																											
大宮社会体育館	943件																											
網野グラウンド（グランド・屋内グランド・球場）	500件																											
網野体育センター（体育室・武道館・テニスコート）	1,547件																											
丹後社会体育館	470件																											
豊栄山村広場（グランド・屋外グランド・球場）	247件																											
弥栄総合運動公園（体育館・グランド・屋根付きグランド・球場など）	1,769件																											
久美浜中央運動公園（グランド・テニスコート・屋根付きグランド・球場など）	1,009件																											
その他、体育施設（29施設）	2,507件																											
合計	9,464件																											
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>使用料</td> <td>紅葉ヶ丘運動場夜間照明使用料、公有財産使用料 他</td> <td>2,953千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>自動販売機売上料</td> <td>37千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金</td> <td>400千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>総合賠償補償保険金</td> <td>1,260千円</td> </tr> </table>						使用料	紅葉ヶ丘運動場夜間照明使用料、公有財産使用料 他	2,953千円	諸収入	自動販売機売上料	37千円	諸収入	旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金	400千円	諸収入	総合賠償補償保険金	1,260千円										
使用料	紅葉ヶ丘運動場夜間照明使用料、公有財産使用料 他	2,953千円																										
諸収入	自動販売機売上料	37千円																										
諸収入	旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金	400千円																										
諸収入	総合賠償補償保険金	1,260千円																										
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の適切な維持管理を行うことで、市民スポーツ活動の普及・発展に寄与した。 ○今後もスポーツ活動の拠点として、効率的・効果的な運営を図るため、市の公共施設見直し計画に基づき、管理形態の見直し等について検討していく必要がある。 ○施設の利用手続き等について、利用者の利便性の向上が課題となっている。 																											
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）																											

予算科目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	02社会体育用学校開放施設管理運営事業	決算書	P.154																																																																																
細事業名	01 社会体育用学校開放施設管理運営事業																																																																																					
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実																																																																																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	③-①	執行率																																																																																
1,717千円		1,828千円		111千円		93.9%																																																																																
当初予算額						(参考) 当初予算額																																																																																
						1,995千円																																																																																
目的	地域のスポーツ振興を図るための学校体育施設の維持管理を行った。																																																																																					
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○需用費 1,512千円 ・消耗品費（体育館ワックス、水銀灯・レフランプ等） 558千円 ・修繕料 914千円 <p>網野南小学校グラウンド照明修理 弥栄小学校体育館ランプ取替 間人小学校照明器具修繕等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 学校体育施設使用申請書 40千円 ○原材料費 洗い砂 43千円 ○備品購入費 AED収納ボックス（市内5中学校） 162千円 																																																																																					
＜利用実績＞	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>嶺山</td> <td>大宮</td> <td>網野</td> <td>丹後</td> <td>弥栄</td> <td>久美浜</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>施設数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用件数</td> <td>2,311</td> <td>706</td> <td>1,728</td> <td>339</td> <td>408</td> <td>662</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>施設数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用件数</td> <td>874</td> <td>251</td> <td>471</td> <td>222</td> <td>305</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用件数</td> <td>537</td> <td>414</td> <td>253</td> <td>347</td> <td>209</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td></td> <td>施設数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用件数</td> <td>22</td> <td>242</td> <td>84</td> <td>77</td> <td>233</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td colspan="5">57施設、11,180件利用</td> <td></td> </tr> </table>							嶺山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	小学校	施設数	5	2	6	3	2	3		利用件数	2,311	706	1,728	339	408	662	中学校	施設数	5	2	4	3	2	3		利用件数	874	251	471	222	305	155		施設数	2	2	2	2	1	2		利用件数	537	414	253	347	209	195		施設数	1	1	1	1	1	1		利用件数	22	242	84	77	233	135		合計	57施設、11,180件利用					
	嶺山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計																																																																															
小学校	施設数	5	2	6	3	2	3																																																																															
	利用件数	2,311	706	1,728	339	408	662																																																																															
中学校	施設数	5	2	4	3	2	3																																																																															
	利用件数	874	251	471	222	305	155																																																																															
	施設数	2	2	2	2	1	2																																																																															
	利用件数	537	414	253	347	209	195																																																																															
	施設数	1	1	1	1	1	1																																																																															
	利用件数	22	242	84	77	233	135																																																																															
	合計	57施設、11,180件利用																																																																																				
主な財源	<table border="1"> <tr> <td>使用料</td> <td>小学校施設使用料</td> <td>1,191千円</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>中学校施設使用料</td> <td>698千円</td> </tr> </table>						使用料	小学校施設使用料	1,191千円	使用料	中学校施設使用料	698千円																																																																										
使用料	小学校施設使用料	1,191千円																																																																																				
使用料	中学校施設使用料	698千円																																																																																				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○社会体育用施設として開放されている学校施設について、計画的な維持管理に努め、地域住民に活動の場を提供することにより、地域スポーツの振興と競技力の向上を図った。 ○今後も市民にとって身近で利用しやすい施設として運営に努めていく必要がある。 																																																																																					
所管課	教育委員会事務局／生涯学習課（スポーツ推進室）																																																																																					

事業名称	再編交付金活用事業		
個別事業名	事業名	決算額	決算額
14	竹野体育館改修事業		36,118千円
総合計画	計画項目 27 多様な学びを支援する社会教育の充実		
13	委託料 工事設計意図伝達業務委託料		432千円
	工事監理業務委託料		1,944千円
15	工事請負費 工事請負費		33,742千円
決算額の内訳			
主要な事務・事業の概要	<p>社会体育施設として活用している竹野体育館について、耐震診断の結果、耐震等の改修を行う必要があると判断されたことにより、改修工事を実施した。</p> <p>○委託料 ・工事設計意図伝達業務 432千円 ・工事監理業務 1,944千円</p> <p>○工事請負費 33,742千円 ・平成29年度竹野体育館改修工事 ＜工事概要＞ RC造一部S造2階建て 延床面積589㎡ 1棟 ・外壁改修 ・屋根防水改修 ・落下危険物撤去（バスケットコート等） ・スロープ設置</p>		
国庫市債	再編交付金 社会教育施設整備事業債（過疎対策債）		24,000千円 12,100千円
主要な財源			
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課（スポーツ推進室）		

予算科目	11災害復旧費	03文教施設災害復旧費	03保健体育施設災害復旧費	01保健体育施設災害復旧事業	決算書	P.156
細事業名	01 保健体育施設災害復旧事業（繰越）					
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決算額	①	最終予算額	②	不用額	②-①	執行率
	2,629千円	3,100千円	471千円			84.8%
目的	大雨により佐濃体育館（旧佐濃小学校）施設内の法面が崩落し、隣接する安齋寺川に影響を及ぼしているため、法面の復旧工事を実施した。					
主要な事務・事業の概要	<p>○工事請負費 2,629千円 ・平成28年度 佐濃体育館敷地法面災害復旧工事 ブロック積 30.5㎡ 法面植栽 99.1㎡</p>					
主要な財源	市債 保健体育施設災害復旧事業債 2,600千円					
成果・課題	大雨により佐濃体育館敷地内にある法面が崩落する災害が発生したが、復旧することができた。					
所管課	教育委員会事務局/生涯学習課（スポーツ推進室）					